

活動議事録

シルバー会 ー 日本老人会: その趣旨は公的な老人福祉事業の補足として、邦人高齢者の為にスウェーデンにおける日常生活をより豊かに楽しくする為に生まれました。非営利団体として会員間相互補助及びリクレーション等の諸々の活動を援助していくことを目的とします。

シルバー会の会則の中にあるものとして

会員の増加と活動の促進を促す。

"ひきこもり"や"出不精"を無くすためにいろいろな催し物を工夫する。

スウェーデンにおける医療施設、介護施設および年金等の生活情報を公開する。

公機関の申請ないしコンタクトに対する情報と説明の便宜を図る。

いろいろな講演、説明会を催す。

クラブ活動として料理、手芸、勉強会、健康管理、遠足、美術館訪問等、能動的活動を行う。

文化、社会活動を行うことでスウェーデンと日本双方の友好と連帯感を深めスウェーデン社会への同化を計る。

標語

お互いを助け合う。ひとりひとりが人的資源である。誰でも何かしら他の人に無いものを持っている。

手助けをすることによって自分自身も何かを得るものである。

委員会の働き

委員会は今までに数回の非正式な会合と議事録を作成した会を8回

持ちました。

委員会は公機関に許可を受けるための申請活動をしました。公機関、組織への連絡および同じような活動をする会とのネットワークの拡大を促進し

ています。

2009年度の総会は3月22日に決定されました。

会員と会場

2008年12月31日現在、106名（アクティブ会員59名）で予想以上の発展を示しております。

常時オープンできる会場の重要性を認識しておりました。それによって多くの方々がシルバー会と会場を我が家のように思っていたくように

なりました。ただ問題点と言えるならば、大きな催し物の場合会場が狭くなることです。将来においてより大きな会場を模索し助成金の拡大を申請することを念頭に入れなければならないかと思われま

現在、クラブと呼んでいる10の活動があります。1) 囲碁 マージャン将棋 2) 生け花 3) カラオケ 4) お絵描き 5) PC習得 6) 旅行 7) 料理 8) 散歩 9) 写真 10) 手芸

ボランティアによる会場の管理、整理整頓、掃除等、サーヴィス面においては会自身の買入れと個人の寄付を戴き快適さが一段と向上しております。

インフォメーション

シルバー会独自のホームページがあります。公の顔として外部の方にも閲覧でき、広報としての役割を果たします。又、メールや郵便によるお知らせも行っております。

目標

最初の一里塚は過ぎたというところと思われます。次の目標としてはストックホルムにある公機関、組織、団体等の接触を増やしていくこと。我々の存在を認識してもらうことと共同で何かを計画すること。勿論、非営利団体として短いながらもいままで培って来た知識、経験の継承を図らなければなりません。

現実と将来の展望

定着した会場と安定した経理との両輪によって私たちの活動は益々盛んになっています。周囲の反応並びにヴィジョン活動の過程において、今まで成して来たことが時宜に適っていると確信しております。結論としては、今後数年の展望はいままで為されて来たことの延長線上にあると思われます。

つまり、会員の為により良く、より楽しく、より興味のあるように、を基本に精進していくということです。

そして常に優先と選択のバランス問題です。ボランティア活動の持つ意味合いとしてそれは継続と実働にあります。会の存続と発展はひとえに改善を重ねてくことにあると思われます。

ストックホルム 2009年

